

平成21年度全国学力・学習状況調査 宮城県の調査結果概要

1 調査のあらまし

- (1) 教育委員会が、教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善に向けて継続的に取り組むとともに、各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることを目的に、小学校6年生(国語、算数)及び中学校3年生(国語、数学)を対象に、平成21年4月21日(火)に実施した。
- (2) 参加状況については、仙台市を含めて公立の小学校は445校、参加児童数は20,871名であり、公立の中学校は215校で、参加生徒数は20,286名であった。

2 結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

- 20年度と比べ、小・中学校のほとんどの教科で全国の平均正答率が高くなっており(文部科学省見解)、本県も同様の傾向となっている。
- 本県の小学生の平均正答率は、いずれの教科においても全国平均を下回る結果となっている。
国語の「知識」に関するA問題では、全国平均との差異が広がっているが、昨年度まで課題の見られた「活用」に関するB問題については、国語・算数ともに全国平均に近づく結果となっている。
- 中学生の平均正答率は、国語の「知識」に関するA問題、国語・数学の「活用」に関するB問題については全国平均を上回る結果となっており、数学の「知識」に関するA問題については、全国平均に近づく結果となっている。

	「知識」に関するA問題				「活用」に関するB問題					
	問題数	全国平均正答率	宮城県平均正答率	全国平均との比較	問題数	全国平均正答率	宮城県平均正答率	全国平均との比較		
小学校	国語	H21	18	69.9	67.4	-2.5	10	50.5	49.8	-0.7
		H20	18	65.4	64.2	-1.2	12	50.5	49.2	-1.3
		H19	18	81.7	80.6	-1.1	10	62.0	61.0	-1.0
	算数	H21	18	78.7	77.5	-1.2	14	54.8	54.0	-0.8
		H20	19	72.2	71.3	-0.9	13	51.6	50.4	-1.2
		H19	19	82.1	81.1	-1.0	14	63.6	61.4	-2.2
中学校	国語	H21	33	77.0	78.1	+1.1	11	74.5	76.4	+1.9
		H20	34	73.6	73.8	+0.2	10	60.8	61.8	+1.0
		H19	37	81.6	80.8	-0.8	10	72.0	71.0	-1.0
	数学	H21	33	62.7	62.1	-0.6	15	56.9	57.7	+0.8
		H20	36	63.1	61.4	-1.7	15	49.2	49.1	-0.1
		H19	36	71.9	70.3	-1.6	17	60.6	59.4	-1.2

(2) 児童生徒質問紙調査の結果

ア 基本的な生活習慣について

- 20年度までの傾向と同様に、本県の小・中学生は、早ね・早おき・朝ごはんや規則正しく生活することなど、基本的な生活習慣に関する質問に対しては、全国に比べて肯定的な回答をしている項目が多い。
- 小・中学生ともに、長時間テレビを見たりテレビゲームをしたりする割合は、20年度よりもやや減少しているものの、全国値よりも高い。

※ 示している数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合、()内は全国との比較

質問事項	小学校(%)			中学校(%)		
	H21	H20	H19	H21	H20	H19
1 普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか(小：午後10時前、中：午後11時前)	51.1 (+7.8)	48.4 (+7.0)	49.4 (+7.3)	34.3 (+2.5)	32.4 (+3.0)	33.8 (+4.0)
2 普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか(午前6時30分より前)	39.8 (+3.5)	38.0 (+2.5)	37.9 (+3.5)	29.9 (-3.4)	29.2 (-3.5)	29.2 (-2.5)
3 朝食を毎日食べていますか	96.6 (+0.6)	96.3 (+0.9)	96.2 (+1.0)	94.0 (+1.6)	93.6 (+1.7)	93.3 (+1.7)
4 普段1日当たりどれくらいの時間テレビやビデオ・DVDを見ますか(3時間以上)	51.1 (+5.4)	51.7 (+5.6)	38.0 (+3.7)	40.4 (+2.4)	43.0 (+3.4)	35.9 (+2.8)
5 普段1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか(3時間以上)	13.0 (+1.4)	14.0 (+2.1)	9.8 (+0.9)	10.5 (+0.1)	10.4 (-0.1)	10.5 (-0.2)

※4と5については、数値が高いほど、また、全国との比較の値が大きいほど改善の必要性がある。

イ 学習習慣及び学習意欲等について

- 小・中学生ともに、家庭で予習・復習をしている割合は、20年度よりも増加しており、全国値よりも高い。
- 平日に家庭で、小学生が30分以上、中学生が1時間以上学習する割合は、小学生は全国値よりも高く20年度よりも増加しており、中学生は全国値よりも低く20年度よりも減少している。
- 小・中学生ともに、家で、自分で計画を立てて勉強している割合は、20年度よりも増加しており、いずれも全国値よりも高い。
- 小・中学生ともに、算数・数学の問題が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える割合は、全国値とほぼ同程度であり、20年度よりもやや増加している。

※ 示している数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合、()内は全国との比較

質 問 事 項	小学校(%)			中学校(%)		
	H21	H20	H19	H21	H20	H19
6 家で学校の授業の予習をしていますか	42.6 (+5.1)	39.1 (+3.7)	36.6 (+3.7)	42.1(+12.6)	41.0(+12.6)	39.3 (+9.8)
7 家で学校の授業の復習をしていますか	54.9 (+8.9)	50.8 (+7.4)	45.8 (+5.7)	49.7 (+9.2)	48.4 (+8.8)	45.8 (+6.6)
8 平日、どれくらい勉強しますか(塾含む、小学校：30分以上、中学校：1時間以上)	86.1 (+2.5)	83.5 (+1.1)	83.5 (-0.4)	62.2 (-3.1)	63.1 (-2.3)	59.9 (-5.1)
9 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	55.5 (+0.8)	51.5 (-0.5)	(該当なし)	40.1 (+2.2)	35.8 (+1.6)	(該当なし)
10 算数・数学の問題が分からないときは、あきらめないで考えますか	77.6 (+0.8)	76.2 (+0.2)	75.0 (+0.3)	64.9 (+0.1)	64.7 (+1.1)	63.6 (+0.6)

(3) 学校質問紙調査の結果

- 「指導計画や学力向上に向けた取組を検討するにあたり、調査結果等を参考にした」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも高く、20年度と比べ中学校での増加が大きい。
- 「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに20年度よりも増加しており、中学校が全国値よりも高い。
- 国語の指導において、「書く習慣や読む習慣を付ける指導」に取り組んだ学校の割合は、小学校では20年度よりも減少し、中学校では増加しており全国値よりも高い。
- 算数・数学の指導において、「補充的及び発展的な指導」に取り組んだ学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも高い。

※ 示している数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合、()内は全国との比較

質 問 事 項	小学校(%)			中学校(%)		
	H21	H20	H19	H21	H20	H19
11 指導計画や学力向上への取組を検討するにあたり、調査結果等を参考にしましたか	86.7 (+2.1)	85.8 (+4.0)	(該当なし)	90.0 (+9.2)	84.5 (+5.6)	(該当なし)
12 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	91.2 (-2.5)	90.7 (-2.0)	88.5 (-2.8)	88.7 (+6.2)	88.2 (+7.0)	84.5 (+6.0)
13 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか	88.3 (-0.8)	90.1 (+2.7)	82.2 (-1.2)	95.0 (+4.1)	89.5 (-0.3)	85.8 (-1.9)
14 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	85.5 (+2.2)	87.4 (+4.5)	82.6 (+2.3)	85.9 (+3.2)	81.4 (-1.7)	84.4 (+2.3)
15 算数・数学の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか	88.5 (+1.8)	93.1 (+3.1)	88.8 (+1.0)	88.2 (+2.1)	91.8 (+3.0)	91.2 (+4.5)
16 算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行いましたか	55.4 (+0.9)	59.2 (+1.4)	56.4 (-1.9)	60.0 (+4.5)	55.9 (-3.2)	55.1 (-4.6)

3 今後の対応

(1) 各方面への周知と各学校の授業改善等の推進

- 調査結果については、各種の教育関係の会議で周知するほか、県教育委員会のホームページに掲載し、広く情報を提供していく。
- 今後、検証改善委員会等において、調査結果をさらに詳細に分析し、市町村教育委員会及び各学校に対し、学習指導の充実が図られるような資料を作成し示していく。

(2) 学力向上関係事業の継続実施

- 調査結果を踏まえ市町村教育委員会と協議するなどの連携を図りながら、教員の教科指導力の向上、児童生徒の学習習慣の形成、教育環境基盤の充実に努め、宮城県の学校教育の最重要課題である児童生徒の学力向上に向けて継続して取り組んでいく。